



第48号

森商工会議所だより

発行者

森商工会議所

会頭伊藤新吉

電話 2-2432

平成22年度

第2回通常議員総会開催

3月28日、まちの駅・交流イベントサロンにおいて平成22年度第2回通常議員総会が開催され、議員30名(内委任状19名を含む)が出席し、平成23年度事業計画(案)及び収支予算(案)について審議を行い満場一致で承認されました。

◎ 平成23年度事業への取組み

我が国の経済は、穏やかな景気回復の動きが見られるものの、世界経済の動向や、厳しい雇用情勢、消費の低迷、デフレなど、多くの不安要素を抱え、依然として先行き不透明な状況が続いております。

特に、経営基盤の脆弱な中小企業者は、景気回復を実感できないまま、公共投資の縮減や原料価格の高騰など収益は急激に減少し、さらには、資金繰りの悪化など多くの企業が厳しい経営環境に置かれております。

また、将来に向けても、国際化の進展や人口減少など経済・社会が大変革の時代を迎えており、各企業は時代の変化を見通した機敏かつ柔軟な対応が求められております。

このような経済状況にあつて、当商工会議所は

経営不安に苦しむ中小企業の諸問題に適切に対応するため、会員事業所の訪問を行い、現場の声を聞き、相談業務の効果的、効率的な指導を行い、中小企業者が健全な発展を遂げられるよう積極的に事業活動を展開してまいります。

特に、本年度は北海道縦貫自動車道森ICが開通し、24年度には大沼ICが開通します。このことから、札幌圏へのアクセス時間が短縮され利便性が図られますが、一方では、消費購買力の流失や来町者の減少が予想されることから赤井川地区や濁川温泉地区の振興策の検討や多くの観光客を誘致するため縄文文化をめぐる鷲の木環状列石の見学が早期に実現するよう要望活動などを行ってまいります。

しかしながら、当商工会議所を取り巻く環境は依然として厳しく、地方行政も困窮していることから、自助努力による財政基盤の確保が求められており、収益事業の積極的な推進や経費の更なる削減を図るとともに、新入会員の募集目標を50事業所と定め、商工会議所議員・職員が一丸となって実現に向けて推進してまいります。

以上、基本的な考え方を踏まえて、当商工会議所に課せられた責務を銘記し、行政並びに関係機関との連携を一層強固にし、産業界ばかりでなく社会全体から評される真の地域総合経済団体として活動を展開し、さらには地域情報の発信基地として、従来に

もまして活力あるまちづくりを目指して、平成23年度事業計画を策定します。

◎ 平成23年度重要事項

- (1) 会員増強と財政基盤の強化。
(今年度 加入目標 50事業所)
- (2) 日本商工会議所、北海道商工会議所連合会への意見具申と連携強化。
- (3) 地域振興に関する陳情活動。
(北海道新幹線・北海道縦貫自動車道建設促進等)
- (4) 行政機関・経済団体等との連携強化。
- (5) 森町活性化協議会の運営協力。
- (6) 商品券の利用拡大。(プレミアム付き建設商品券発行)
- (7) 人口増加に向けた対策について関係機関との連携協力推進。
- (8) 大型店出店計画に係る対応。

◎ 運営に関する事項

- (1) 会員増強と財政基盤の強化。
- (2) 部会・委員会等、各種会議の活性化。
- (3) 砂原商工会との統合調査、研修。
- (4) 中小企業相談所(経営改善普及事業)の運営協力。
- (5) 個人情報保護法の研修及び周知指導。
- (6) 議員、職員の研修視察の実施。
- (7) 事務受託団体の運営指導。
- (8) 森商工会議所女性会の運営協力。
- (9) 商工会議所青年部の設立。

◎ 税務財政金融事業に関する事項

- (1) 国税、地方税等に関する税制改正要望への意見具申。
- (2) 森青色申告会、(社)八雲地方法人会森支部等税務諸団体の育成と連携強化。

(3) 会員向融資制度「メンバーズ融資制度」の利用促進。

(4) 北海道「中小企業振興資金融資制度」の利用促進。

(5) 森町中小企業特別融資制度の利用促進。

(6) 政府系金融機関（日本政策金融公庫など）の積極的な利用促進。

(7) 中小企業相談所の積極的な利用促進。

(8) 税制に関する法令、改正等の啓蒙。

◎ 中小企業振興事業に関する事項

(1) 中小企業活性化事業の推進及び調査研究。

① 中心市街地活性化法の調査研究。

② 企業誘致事業の推進。

③ 異業種団体との交流。

④ 中小企業におけるインターネットの取組み。

⑤ 講習会・講演会の開催。

(2) 北海道新幹線・北海道縦貫自動車道開通を見定め
た地域振興の取組。

(3) 大型店出店計画に係る対応。

(4) 商工業活性化に伴う商品券の販売促進。
(プレミアム付き建設商品券の販売)

(5) 森商店会ポイントカード事業への協力。

(6) PL法（製造物責任）保険の普及推進。

(7) 「地元企業活用運動」の推進。

(8) 1,000もり飲食街「モリッキー街」事業の継続。

(9) 飲食店会の設立に向けた調査。

◎ 運輸・観光開発事業に関する事項

(1) 北海道縦貫自動車道を含めた観光産業道路の整備
促進陳情。

(2) 各種観光産業の充実強化と関係諸団体との連携。

(3) 森町濁川温泉地区などの活性化。

(4) 大沼IC開通に伴う赤井川小学校（休校）跡地の利用について。

(5) 環状列石の周辺整備と早期開放に関する要望について。

(6) 森観光協会への協力。

◎ 労務厚生福祉事業に関する事項

(1) 生命共済制度ほか各種共済制度の普及。

(2) 労働に関する法令・改正等の周知指導。

(3) 全道商工会議所共通優待サービス事業（C・C・I・S）
の利用と充実。

(4) 地元新卒者の地元企業への労働力の確保と就職推進。

平成23年度 収入支出予算総括表

自平成23年4月1日～至平成24年3月31日

(単位:円)

科目 / 区分	一般会計	相談所会計	収益会計	退職金会計	基金会計	合計
会費	12,300,000	—	—	—	—	12,300,000
道補助金	—	15,209,456	—	—	—	15,209,456
町補助金	20,477,000	8,199,000	—	—	—	28,676,000
全商連助成金	—	0	—	—	—	0
事業収入	636,800	481,000	8,977,305	—	—	10,095,105
特商負担金	299,000	—	—	—	—	299,000
雑収入	202,802	10,544	496,860	15,800	3,700	729,706
繰入金	1,295,000	800,000	0	—	—	2,095,000
繰越金	1,299,398	0	630,835	27,444,200	6,770,300	36,144,733
合計	36,510,000	24,700,000	10,105,000	27,460,000	6,774,000	105,549,000

科目 / 区分	一般会計	相談所会計	収益会計	退職金会計	基金会計	合計
事業費	12,153,000	763,472	—	—	—	12,916,472
給与費	12,711,718	18,621,004	6,596,950	—	—	37,929,672
福利厚生費	2,569,224	2,774,637	1,333,586	—	—	6,677,447
旅費交通費	600,000	610,800	50,000	—	—	1,260,800
事務費	3,243,314	895,755	1,072,120	—	—	5,211,189
家屋費	1,660,800	—	—	—	—	1,660,800
会議費	550,000	50,000	5,000	—	—	605,000
渉外費	650,000	—	10,000	—	—	660,000
支払手数料	—	—	35,280	—	—	35,280
賃貸料	—	—	360,000	—	—	360,000
公課分担金	1,143,200	2,500	393,483	—	—	1,539,183
福利環境費	—	913,512	—	—	—	913,512
繰出金	900,000	—	0	—	1,295,000	2,195,000
退職給与金	—	—	—	27,460,000	—	27,460,000
雑費	81,000	67,300	171,000	—	—	319,300
予備費	247,744	1,020	77,581	—	—	326,345
本年度支出金	—	—	—	—	5,479,000	5,479,000
合計	36,510,000	24,700,000	10,105,000	27,460,000	6,774,000	105,549,000

(5) 外国人研修生（中国など）の受入れ企業への協力。

◎ 調査及び広報に関する事項

(1) 広報紙（会報）の発行。

(2) ホームページの利活用。

(3) 地区内中小企業景気動向調査の実施。

◎ 商工技術振興事業に関する事項

(1) 珠算・暗算・簿記・北海道観光マスター等の検定試験の実施。

◎ 法定台帳作成管理運用に関する事項

(1) 法定台帳の作成ならびに特定商工業者の登録及び変更訂正等整備・適正運用管理。

北海道森町救援隊活動報告

東日本大震災の被災者を支援する目的で結成した「北海道森町救援隊」が8日夜宮城県気仙沼市に出発しました。

救援隊は、森商工会議所の会員企業や森町物産協会、森地区水産加工振興協議会が中心となり、町内の企業や団体から協力を得て、車両5台、隊員16名が炊き出し用イカめしやつみれ汁などの森町の特産品、日用品、支援物資を積み込み森町の元気を被災地に届けた。被災者や現地のボランティアの方々を温かい食べ物で励ましたいとの思いからの企画です。

各協賛者から協力を得た支援物資を満載したトラックには「がんばれ！東北」と書かれた幕が掲げられ、隊員の背中には「愛」と大きく書かれたジャンパーを着用。



渡島信用金庫本店前で行われた出陣式では、見送りの関係者ら50人が見守る中、隊長で当会議所伊藤会頭の「森町の元気を被災者にあげたい。イカめしやホタテでひとりでも多くの人に喜んでもらえるよう、応援していただきたい。頑張りましょう」と呼び掛け、「行って来ます。」と出発を宣言して、トラックやバスに乗り込み、拍手に見送られて出発した。

4月9日・10日の2日間で、市内4カ所の避難所を順次回って計6千人分の炊き出しを行いました。

避難所の気仙沼市総合体育館では、調理中のテントに集まった被災者から香ばしい香りのホタテのバター焼きや温かいつみれ汁・かぼちやコロツケとイカめしを700人分振る舞い、被災者・ボランティアの方々は大変喜ばれました。



お知らせ

※ この度、発行いたしました創立60周年記念誌の印刷に間違いがございました、正しくは下記のとおりとなりますので訂正しお詫び申し上げます。

訂正

阿 部 商 会
 (株)クリーンサービスあべ
 (有)小笠原葬祭 / 葬 祭 具
 (有) 仵 住 / 2-2324
 (有) 有 田 板 金 工 業

平成23年第1期分

会費納入のお願い

今月は、当商工会議所の会費納入月となっております、会費の納入はお手数ですがお振込または、事務所までご持参下さいます様お願い致します。

4月30日 (土)